



大用小学校学校だより NO.19

とみやま



令和7年1月10日 文責 校長 弘瀬

寒さ厳しい中、まとめの3学期が始まる!



▲1月10日(金)朝、上空に今シーズン一番の寒気が流れ込み大用小学校のグラウンドはカチカチ。まるで冷凍庫のよう。子どもたちが走るたびにザクザクという音が響いていました!

新年、明けましておめでとうございます。わずか13日間の冬休みが終わり、1月8日(水)の朝、子どもたちが元気に登校してきました。インフルエンザが流行していることや体調不良で全員がそろってはいませんが、この冬休み期間中に私たちの周りでは大きな災害や事故がなく、こうして3学期の始業式を迎えられたことをうれしく思います。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は、年末に黒潮町蜷川の知り合いの家に行きました。途中で、歩きながら火ばさみで何かを取っているおばあさんを見かけました。「あの人、何をしゅうがやろうかねえ?」と車を運転しながら妻と話をしていました。私は、栗とか木の実を拾いようがやろうか。妻は、ゴミを拾いようがやないろうかと言っていました。用事を済ませて帰る途中、さっきの人が1kmくらい歩いてきていました。また何かを拾っています。白いビニール袋には、紙切れや空き缶のようなものがたくさん入っていました。私は、このおばあさんから2つのことを学びました。1つは、誰も見ていないのに地域の清掃活動を日常的に続ける立派な生き方。2つ目は、その姿を見てすぐに自分の好きな食べ物を拾っていると思った私とゴミ拾いをしながら地域をきれいにしているんじゃないかと思った妻との違いです。同じ行為を見ても、見る人によってその行為は違って見えるということです。3学期、子どもたちには周囲の友だちの良いところをたくさん見つけてほしいと思います。私も子どもたちの良いところをたくさん見つけて、自分自身を高めていきたいと思います。

さて、この日から50日間の3学期が始まりました。3学期は学年のまとめの期間です。あと3ヶ月足らずで、6年生は中学生になります。5年生は最上級生の6年生に、4年生は5年生として高学年の仲間入りです。3年生は4年生になり複式授業で今の2年生が3年生になった時のお手本になります。2年生は中学年の隣の教室に移動します。そして、この前に入学してきたと思っていた1年生の3人は、もうすぐ2年生になります。今まで学んできたことをさらに生かし、自分で考え、よりよく判断し、粘り強く取り組む、そんなまとめの3学期にしてほしいと思います。

3学期はあっという間に過ぎてしまいます。日々の学習や生活を大切しながら、そして、次の学年をイメージしながら充実した学期にしてほしいと思います。大用小学校の学校目標は、「笑顔・元気・意欲」です。子どもたちが笑顔で、元気に、意欲的に過ごせるように、教職員も頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

恒例の年賀状抽選会で盛りあがりました！

1月9日（木）、掃除班の友だちと年賀状を交換して、もっと仲良くなれるようにすることを目標に、年賀状抽選会を行いました。受け取った年賀状の中でお気に入りの一枚を持ち寄り掲示しました。その中から投票で上位3位までの年賀状にプレゼントがあります。また、全員分のプレゼントも用意されており、空くじ無しの抽選会もありました。毎年、子どもたちが楽しみにしている行事のひとつです。（プレゼントは、PTA 会計より支出しています。）

【おことわり】

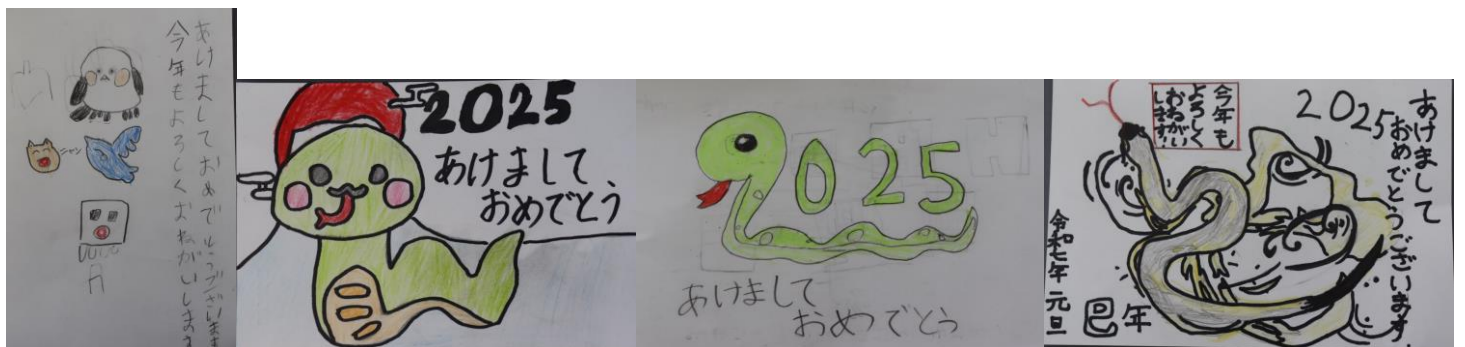
子どもたちが持ち寄ったお気に入りの年賀状 22 枚を紹介します。差出人が同じ子どもの年賀状が複数あるかもしれません。ご了承ください。



▲第3位 富田さん



▲第2位 田野さん



▲第1位 平野さん

【年賀状】古くから年頭には、祝賀を交換する習わしがありました。やがて年賀のために、元旦に上司や目上の人などの家々を回るようになり、年賀を受ける側も、酒・肴・雑煮などの用意をして、もてなすようになりました。そして、年賀に行けない人は、年賀のあいさつを手紙に書いて送っていました。これが、現在の年賀状の習慣に引き継がれています。（日本人のしきたり：青春新書より）